

職人のリアルを伝え職人不足を解消

チーム燕三条

TEAM Tsubame Sanjo

鍛冶職人不足の危機！！伝統ある鍛冶職人
怖くてなりたくない職業から...
楽しくてあこがれの職業に.....



こんなにも魅力的な
仕事なのに...
誰か引き継いで
くれないかな...



鍛冶職人めっちゃ
カッコいい...
この技！習得したい
教えてほしい...

「包丁をつくるプロ」＝「鍛冶職人」
「包丁をつかうプロ」＝「調理学生」

若手プロモーション企画 『チーム燕三条』

燕三条の若手鍛冶職人と調理専門学校
の学生がチームを組みその学生の「世
界に一本だけの包丁」を共創。

「悩み」「試し」「改良」を重ねながら
究極の一本をつくるモノガタリ。
その姿を全国(将来的には全世界)に向
けて様々なメディアでプロモーション。
この過程そのものが

「燕三条で職人として生きる姿」
の可視化である。

若手職人と調理学生の共創が職人のリアルを伝える

2026 アイデア実現までの流れ

●探究引継ぎ		●調理専門学校選定			●調理学生決定			●調理学生募集開始			●包丁完成	
●専門学校にプレゼン		●調理学生決定			●調理学生募集開始			●包丁完成				
3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	
●共催刃物メーカー決定		●実施プラン決定			●第1回奨学包丁PJ始動			●(若手職人×調理学生が包丁を共創)				
●HP作成開始		●HP公開										

アイデア実現までの3つのSTEP

STEP 1: 情報発信
若手職人の働く姿を掲載するHPの作成

STEP 2: 奨学包丁PJ

「調理学生×若手職人」調理学生専用の「MY包丁」の共創

STEP 3: 全国へ展開

燕三条のファンを増やし職人不足解消、ブランド力向上に繋がる